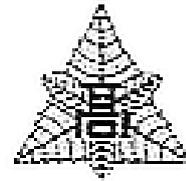


岩手県立紫波総合高等学校 中学生用学校案内

■概要

校 名 : 岩手県立紫波総合高等学校
創 立 : 昭和5年4月1日(平成16年度より総合学科高校に改編)
開校記念日 : 5月6日
所 在 地 : 028-3305 岩手県紫波郡紫波町日詰字朝日田1番地
電話番号 : 019-672-3690
FAX番号 : 019-672-2647
ホームページ : <http://www2.iwate-ed.jp/shw-h/>
交通機関 : JR東北本線 紫波中央駅下車 徒歩10分
校長名 : 馬場香樹



■設置学科・生徒数

令和2年5月1日現在

課 程	学科名	設置年度	令和2年度生徒数			
			1年次	2年次	3年次	合計
全日制	総合学科	平成16年度	91	134	139	364

■目指す学校像

- (1) 生徒が学びと学校生活を楽しむ、明るく目標を持って通える学校をめざす。
- (2) 地域・保護者からの期待に応えて貢献できる、求心力を持った学校をめざす。
- (3) 教職員が生徒と互恵的に関わり、やりがいを持って協働できる学校をめざす。

■令和3年度の入学者選抜方法について

①推薦入学者選抜

・定員

24名

・推薦基準

次の1～4の条件を満たした上で、5の条件のいずれかに該当する者

- 1 本校の教育を受けるに足る能力・適性を持つ者
- 2 基本的な生活習慣が身に付いている者
- 3 志願理由が明確かつ適切で、入学後も意欲的な高校生活を送ることが期待される者
- 4 中学校3年間の欠席日数が、特別の理由がある場合を除き10日未満の者
- 5 次のいずれかに該当する者

ただし、(1)～(5)について、当該の活動を義務づけるものではない。

なお、(1)～(5)は応募資格A、(6)は応募資格Bに該当する。

- (1) 中学校体育連盟・中学校文化連盟等が主催する体育活動及び文化活動において、地区大会に選手(メンバー)としての出場経験を持ち、その活動の継続を希望する者
- (2) 「いわてスーパークッズ」に選ばれ、そのプログラム修了見込みの者
- (3) 文部科学省「新体力テスト」でA段階もしくはそれと同等の能力を有し、本校自転車競技支部(岩手県スポーツ特別強化指定)での活動を希望する者

- (4) 学校外での体育活動、文化・芸術活動において、各種大会の発表会・コンクールでの顕著な活動が認められる者、または本校郷土芸能部での活動を希望する者
- (5) 生徒会活動や継続的なボランティア活動を行い、その活動を継続する意志のある者
- (6) 本校の系列等で学習した内容を生かして将来の進路目標を定め、進学または就職をしようとする強い意志がある者

【推薦基準対象の部活動】

<文化部> 美術、理科研究、書道、音楽、茶道、郷土芸能

<運動部> 陸上競技（男女）、自転車競技（男女）、硬式野球（男）、卓球（男女）、ソフトボール（女）、弓道（男女）、バスケットボール（男女）、バレーボール（男女）、ハンドボール（男女）

・検査内容

- 1 面接 個人面接(15分)
- 2 作文 指定されたテーマについて、600字程度で自分の考えをまとめる（50分）

・選抜方法

- 1 調査書（100点）
「各教科の学習の記録」
1・2年の9教科の評定合計(各45点)+3年の9教科の評定合計の2倍(90点)を100点に圧縮
- 2 実績（100点）
調査書及び志願理由書に記載されている実績
- 3 面接（100点）
- 4 作文（100点）
<合計 400点> ※ 合計点をもとに、総合的に判断して選抜する

②一般入学者選抜

- ・定員 160名（推薦合格者を含む）
- ・選考の順序と割合
選考Ⅰ A選考 定員の70%
選考Ⅱ B選考 定員の30%
- ・学力検査と調査書・面接等の比率
選考Ⅰ A選考 学力検査50%、調査書・面接50%
選考Ⅱ B選考 学力検査30%、調査書・面接等70%

■特色ある活動

◇学習活動

日々の授業をとおして、学習活動の充実と学力の向上を図りながら、将来の進路目標の達成を目指して努力している。特に平成16年度より本校は「総合学科高校」に改編され、多様な実技・実習・実験等を通して「生きた知識・技能」の習得を目指している。例えば、コンピュータ室を中心にコンピュータを数多く設置して情報化時代に即応した先端技術の習得や、英語・国語などの科目に関わる検定、情報技術・情報処理などの実務に関わる資格、社会が求めている各種資格取得を目指して、日常の学習に取り組んでいる。また、地域でのボランティア活動に積極的に取り組み、地域に貢献する人材の育成と幅広い視野を養えるよう活動している。

◇学校行事

例年10月に行う文化祭「紫鷲祭」は、日常の学習活動の発表の場として、地域の住民はもとより多くの人々が心待ちにしている学校行事の一つである。

「校内スポーツ大会」は、生徒と職員の心が触れ合う場となっている。競技に参加する生徒も応援する生徒も一緒になり、クラスの団結が深まる行事である。

「修学旅行」は、高校生活の思い出として生徒の心に残る一大行事である。

◇部活動

文化部・運動部とも活発に活動している。

運動部では、特に自転車競技部の活躍がめざましくインターハイや国民体育大会等で全国にその名をとどろかせている。

文化部では、美術部、書道部、棋道部、吹奏楽部、演劇部等が各種展示会や発表会で活躍している。

これらの活動を支えている生徒会執行部や応援団等は、合宿等を実施し全校生徒の士気の高揚に励んでいる。

■校長から一言

紫波総合高校は、令和2（2020）年度創立90周年を迎える長い歴史を誇るとともに、総合学科に生まれ変わり今年で16年目の「古くて新しい学校」です。普通科でもない、専門学科でもない、総合学科高校である本校の大きな特徴は、生徒は入学してから、じっくりと自分の進路について考える様々な機会が与えられ、自分の興味関心や適性をもとに進学、就職それぞれの目標に向けて5つの系列（コース）の下で取り組むことができるという多様さにあり、誰もが自分の様々な可能性に挑戦できることです。

生徒は恵まれた環境で、勉強や部活動、ボランティア活動に取り組みながら、自分の可能性に挑んでいます。また、校舎は近年成長著しい紫波町日詰OGALオガール地区に隣接しており、町の発展とともに、この高校も90周年そして100周年へ向かってさらに伸びようとしています。

紫波総合高校は、令和2（2020）年度創立90周年を迎える長い歴史を誇るとともに、総合学科に生まれ変わり今年で16年目の「古くて新しい学校」です。

中学生の皆さん、是非本校の扉を叩き、自分の可能性に向かって挑戦し続ける充実した高校生活を送りながら、創立90周年を共に創りあげましょう。

校長 馬場 香樹

■公立高等学校就学支援金制度に関する県教育委員会からのお知らせ

- （1）平成26年度から県立高校の授業料に高等学校等就学支援金制度が導入されました。
- （2）この制度により、一定の所得未満の家庭の高校生は授業料の納付が不要となりました。
- （3）一定の所得未満とは、保護者等所得について、以下の算定式により計算した額が、30万4,200円未満の場合です（年収目安910万円未満）。【算定式】課税標準額（課税所得額）×6%－市町村民税の調整控除の額
- （4）手続き等については、入学手続き関係書類の送付と併せてお知らせする予定ですが、制度について詳しくお知りになりたい方は、下記の文部科学省ホームページ「高等学校等就学支援金制度（新制度）について」をご覧ください。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/mushouka/index.htm

【参考】県立高校授業料・通信制受講料

全日制（月額）9,900円 定時制（月額）2,700円 通信制（1単位）190円

<参考> 授業料・諸経費等

授業料・諸会費

- 令和元年度入学生授業料 授業料徴収見込額118,000円。（月額9,900円）
- 令和元年度諸会費（生徒会費・PTA会費等） 年額36,120円（月額3,612円 4月から1月までの10回払い）
- *入学選考料 2,200円、入学料 5,650円

☆参考 令和元年度入学生（1年次）諸経費（入学時一括納入金）76,000円（運動着、運動靴、教材費、進路指導費等）

- *他に制服代（夏・冬服合わせて約80,000円～90,000円）、教科書代（令和元年度入学生約7,100円～10,700円）、運動靴代（令和元年度入学生3,000円）が必要です。
- *また、部活動に関わる費用及び修学旅行の積立金等が必要になります。
- *2年次からは、選択した系列と科目によって必要経費が異なります。